

平成 23 年度
第 49 回 応用物理学会北海道支部総会 議事録

日時：平成 24 年 3 月 8 日（木）16:00～17:30

場所：北海道大学 大学院工学研究院 物理工学系会議室（A1-70 室）

出席者（順不同、敬称略）：

高橋 庸夫（H23 支部長）、橋詰 保（H23 会計監査）、篁 耕司（H23 旭川幹事）、
熊野 英和（H23 庶務幹事）、藤原 英樹（H24 庶務幹事）、笹倉 弘理（H23 会計幹事）、
海住 英生（H23 会計幹事）、村上 尚史（H24 会計幹事） 以上 8 名

※ 欠席者は全て「支部長に委任」

事務局： 岩崎 美樹

議事録作成者：

熊野 英和（H23 庶務幹事）

・総会開始前、第 47 回応用物理学会北海道支部／第 8 回日本光学会北海道地区合同学術講演会受賞者 5 名に対し表彰式を挙行之、賞状および記念メダルを授与した。

（敬称略）

丸林 俊文（室蘭工業大学）

安川 大（千歳科学技術大学）

Gui-fang Li（北海道大学情報科学研究科）

中島 秀朗（北海道大学電子科学研究所）

竹内 智彦（旭川工業高等専門学校専攻科）

議題

1. 前回（第 48 回 応用物理学会北海道支部総会）議事録について確認を行い、全会一致で承認された（高橋先生）。

2. 平成 23 年度事業報告及び決算報告について（資料 1-1、1-2）

事業報告：

・資料 1-1（3～11 ページ）に沿って、H23 の事業報告を行った（熊野先生）。

決算報告：

・資料 1-2（12 ページ）に沿って、H23 の決算報告を行った（笹倉先生）。

※ 訂正事項：収入の部の「その他受け取り補助金」の内容説明において、「電気通信学会」と記載されているが、正しくは「電気学会」である。

・資料 1-3（13 ページ）に沿って、H23 の貸借対照表について説明を行った（笹倉先生）。

以上について、全会一致で承認された。

3. 平成 24 年度事業計画及び予算案について（資料 2-1、2-2）

事業計画：

・資料 2-1（14 ページ）に沿って、H24 の事業計画を報告した（熊野先生）。

予算案：

- ・資料 2-2（15 ページ）に沿って、H24 の予算案を報告した（笹倉先生）。

予算削減のため、新しい事業を増やすというよりは、現在存続している事業を効率化させることに力を注ぐべきである（熊野先生）。

特に、リフレッシュ理科教室補助金は 100 万円から 80 万円に縮減（支部全体で 20% 減額）される。補助金の減額に伴い、事業を縮小することも考えてよい（笹倉先生）。ただ、今年も JST プロジェクト（代表：NP0 法人菅原先生）とのジョイントが決まっているため、それとの兼ね合いが必要である。

補助金に関しては、現在、電気学会からの補助（10 万円）があるが、他の学会、例えば、電子情報通信学会からの補助も不可能ではないため、打診を試みる（高橋先生）。

収入を多くするためには、学術講演会における参加登録者数を増やすことが大切である。来年 1 月の学術講演会は釧路で行うため、参加者人数が減少することが見込まれる。参加人数の予測等、前例（室蘭や函館で開催した学術講演会）を調べ、今の段階から対策を練る必要がある（橋詰先生）。

来年度 4 月に行われる第 1 回役員会終了後の懇親会について、一人 2 0 0 0 円（私費）にしても開催した方がよい（橋詰先生）。エンレイソウの 2 階の会議室は無料であるため、オードブル等を注文すれば、2 0 0 0 円程度に抑えることができる（高橋先生）。地方の大学から参加している教員としては、交流する場がとても貴重であるので、是非、このような交流会は存続してほしい（笹先生）。

以上について、全会一致で承認された。

4. 支部役員の改選について（資料 3）

- ・資料 3（16 ページ）に沿って、新役員が紹介された。

ただし、新任の村上先生に関しては、来年度中を開始として 1 0 カ月間アメリカに滞在することが決定されたため、他の適任者を選定する必要がある。4 月に会計業務の引き継ぎがあるため、それまでに決めることが望ましい（熊野先生）。

5. 支部講演会参加登録費改定について（資料 4）

- ・資料 4（17 ページ）に沿って、学術講演会における参加登録費の改定案を報告した（熊野先生）。

以上について、全会一致で承認された。

6. 報告事項

- ・なし

7. その他（別添資料）

- ・なし

以上